

J R 総連通信

2022年9月20日 No.1578

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>



9月19日、東京・代々木公園にて「改憲発議と大軍拡やめろ! さようなら戦争 さようなら原発 『戦争法』強行から7年 福島原発事故を忘れない 9.19 大集会」が、台風の影響により時折強い雨が降る中で開催され、1万3千人（主催者発表）が結集しました。集会には、多くの市民や平和団体、労働組合が参加し、JR総連は9条連の仲間とともに、140名で参加してきました。

作家の落合恵子さんは「ウクライナ侵攻に乗じて、(原発の)再稼働と新增設。一体何を見てきたのか。『国葬』『国策』、国という字がつくものが、どれほど私たちを苦しめてきたか。はっきり『No!』と言いましょ!」と訴え、総がかり行動青年プロジェクトの井田敬さんは「国葬をやりたがる人は『純粋に人の死を悼め』と言うが、沖縄戦の犠牲者の遺骨を含む土砂を、(辺野古の)埋め立てに使うのはいいのか」と訴えました。

また、ルポライター鎌田慧さんは閉会の挨拶で「岸田首相は、『国葬』『安保法制』『原発の再稼働や新增設』を進めようとしている。このメチャクチャな政治を許さず、変えていく一步を踏み出そう!」と訴えました。

集会終了後は、渋谷の街をデモ行進し、プラカードを掲げて「改憲反対!」「原発の新設・再稼働反対!」と訴えてきました!